



# はやま



平成26年(2014年)

## 6月号

### No.531

全町でのごみの戸別収集と

資源ステーションでの資源回収が始まりました！

# ごみのないまち

# 美しい葉山へ

(表紙写真は昨年のおじさい公園のようす)

# 今月の目次

ごみのないまち 美しい葉山へ…	3
子育てひろば ……………	8
健康情報 ……………	10
教育委員会だより ……	12
町からのご案内・拡大版…	14
その他ご案内いろいろ	16
でんごんばん ……………	18
5月の世帯と人口 ……	19
二つの給付金 ……………	20
葉山いろいろ写真館…	22
無料耐震相談会 ……………	24

## 町長と葉山のはなし

### 山梨崇仁町長コラム

#### Vol.3 資源化・減量化への取組み — 一つになる力 —



二十代の頃に、こんな研修を受けました。1本のフラフープを7人で囲み、それぞれ人差し指1本だけをまっすぐ水平に出して、下から輪を持ち上げて移動する。ルール

は一つ。作業中、必ず全員の指が輪に触れていることです。簡単なようですが、やってみるとあら不思議。フラフープに触れない人が出るうえ、どんどん高

く持ち上がり、やがて届かなくなる人も……。声かけやコミュニケーションの重要性を学ぶ研修でした。

今回変更するごみ収集方法は、前例が少なく、無料では足並みがそろわず失敗する、という批判があります。しかし、説明会をすでに100回以上開き、約6000人の方々にご参加いただきました。今後も必要に応じて続けます。役場職員やボランティア、町内会が一体となり、丁寧なコミュニケーションを心がけ、分かりやすい説明に努めてくれました。町は今、難しい一つの輪を持ち上げようとしているのかもしれない。

私は強く信じています。この町が好きで、この町に住むことを誇りに思う皆さんなら成功できる。葉山町の一つになる力で必ずや成功させましょう。

## ごみの歴史

### 江戸のまちは世界最先端のごみゼロ都市?!

約250年前まで続いた江戸時代の生活は、「リサイクル社会」でした。ごみを減らすためではなく、「ものを大切に使う」という考え方が自然にリサイクル社会を生み出したのです。それは、「一度使った紙は、紙くず買いが回収し、すき返し業者が再生する」、「茶碗が割れてしまったら、瀬戸物の修理専門職人が直す」といったようす。なんと植物を燃やしたあとの灰や排泄物も肥料に使い、ほとんどごみが出ない生活だったといえます。現代に生きる私たちも、「ものを大切に使う心」を取り戻してみませんか？